



第18回 革靴製造技能試験 募集要項



全日本革靴工業協同組合連合会

1. 試験の種類、等級及び受験資格

(1) 試験の種類

革靴製甲技能(婦人・紳士)
革靴底付技能(婦人・紳士)(手釣り・機械釣り)

(2) 試験の等級

評価点数により1級或いは2級に認定します。

1級：実技90点以上、学科70点以上

2級：実技60点以上、学科60点以上

(3) 受験資格

製甲及び底付の作業経験が半年以上あり、作業用の工具の使用、機械の操作が安全に行えること。

2. 試験概要

(1) 技能試験の申込から受験まで

① 受験申込書提出

受験申込書に必要事項をご記入の上、メール或いは FAX にて全靴協連宛てに送付願います(送付先：「4. 受験申込書の受付期間と受付先」参照)。

Web サイトからのお申込みもできます(<https://www.zkk.jp>)。

② 全靴協連より受験料振込依頼のご連絡をしますので、受験料12,000円を全靴協連の指定する銀行へお振込みください。

③ 受験料の入金確認後、全靴協連より試験準備に必要な下記書類及び材料等を受験者へ送付しますので試験当日まで十分な練習を行ってください。

- ・ 採点基準表
- ・ 学科試験教材
- ・ 実技試験で使う材料と同じ材料3足分
- ・ 見本

④受験希望日をネットで予約

書類及び材料等送付後、全靴協連より受験可能日及びパスワードを受験申込者にご連絡しますので全靴協連ホームページからログインして試験日を予約願います。

⑤受験票送付

予約完了後、全靴協連より試験の2週間前までに、受験票を指定いただいた住所へ送付いたします。試験当日は受験票をご持参ください。

⑥実技試験

試験時間：80分～120分(試験種類によって異なります。)

試験の種類ごとに「婦人」または「紳士」のいずれかを選択してください。

さらに底付は手釣りか機械釣りをかを選択してください。

⑦学科試験

試験時間：30分

出題方法は「真偽法」と「多肢択一法」の併用で40問の出題です。

出題範囲は送付物の「学科試験教材」を参照してください。

(2)試験日時及び試験会場

試験期間：令和6年9月25日～令和7年3月29日

試験会場：全靴協連人材研修施設

東京都台東区橋場2-4-1

TEL：03-6240-6761

東武浅草駅より北めぐりんバス「橋場一丁目」下車徒歩1分

(3)講習及び訓練

受験者は、試験日までに試験内容(製造手順・採点基準)を確認し、送付の材料を使い練習してください。また、受験者は全靴協連研修施設での講習を無料で受けることもできますので、希望者は全靴協連人材研修施設までご連絡ください。

(4)試験結果の通知

各受験者の試験終了後1か月以内に通知いたします。

可否判定とともに、事前に配布した採点基準表に基づいた採点詳細を添付します。

学科試験結果については、採点後の答案用紙を返送します。

3. 受験料

12,000 円(消費税含む)

受験申込受付後、受験料の振込口座をメール或いは FAX で受験申込者へ連絡します。
なお振込手数料は受験者の負担となります。

4. 受験申込書の受付期間と受付先

受付期間：令和6年9月10日～令和7年2月14日

受付先： 全日本革靴工業協同組合連合会

e-mail：tokuda@zkkkr.jp

FAX： 03-5603-8678

郵送先：〒111-0025 東京都台東区東浅草2-17-1

TEL： 03-5603-2135

5. 受験申込書の記載及び申込上の注意について

- (1) 受験申込書は記載事項に記載漏れ及び誤りがないことをご確認ください。
- (2) 写真は6ヶ月以内の正面脱帽顔写真を貼付してください。
- (3) 受験申込書はコピーを取り各自保管してください。
- (4) ホームページにアクセスできる環境にない場合は、技能試験担当までご相談ください。

6. 学科試験出題範囲

試験の種類	共通分野	専門分野
革靴製甲技能	<ul style="list-style-type: none"> ① 革靴の種類及び製法に関する知識 ② 皮革の素材、鞣し方、仕上げの特徴、用途等に関する知識 ③ 革靴の部品、付属品及び副資材に関する知識 ④ 紙型及び木型に関する知識 ⑤ 用具及び機械に関する知識 	<ul style="list-style-type: none"> ① 靴製造に関する知識 ② 製甲工程に関する知識 ③ 製甲用具及び機械に関する知識等
革靴底付技能	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 靴のデザインに関する知識 ⑦ 足と靴に関する知識(足と靴の関連性及び足の病気等に関する知識) ⑧ 安全衛生管理及び生産工学に関する知識 ⑨ 皮革、革靴の国内生産統計及び輸出入統計に関する知識 ⑩ その他革靴製造に関する一般知識 	<ul style="list-style-type: none"> ① 靴製造に関する知識 ② 底付工程に関する知識 ③ 底付用具及び機械に関する知識等

7. 実技試験内容及び課題

実技試験は作業工程別の点数により技能を評価し、1級或いは2級の認定となります。
 なお、実技試験内容及び課題に必要な工具(底付：ハンドセットの用意有)は実技試験の際に各自必ずお持ちください。

デザイン

紳士 内羽根ストレートチップ



婦人 プレーンパンプス



「革靴底付技能」

手釣りか機械釣りのいずれかを選択する。(セメンテッド製法による)

試験内容 手釣り 仕様書のとおり手釣りで底付完成品を作る。
機械釣り 仕様書のとおり機械を用いて底付完成品を作る。

【使用する機械は以下のとおり】

トーラスター ORMAC Challenger(ホットメルト機能未使用)

甲革蒸し機 MolinaeBianchi UPB

ヒールラスター ORMAC ROLLER 850

踵成形機 International 1128(片足タイプ)

本底圧着機 (空気圧タイプ)

両頭グラインダー

再活性 BOX

注1

中底仮留め機、先芯プレス機、ヒールパウンディング機設置なし。中底仮留めは丸釘を使用、先芯プレスはハンマー等に対応、ヒールセットはハンドヒールセットを使用する。

課題 手釣り 釣込み、ヒールハンドセットとパウンディング、起毛、糊塗り、底貼り等

機械釣り 下ごしらえ、トーラスター、サイドのまとめ(手釣り)、ヒールラスター、ヒールハンドセットとパウンディング、起毛、糊塗り、底貼り等

注2

婦人靴は、スタックヒール (ヒール巻き作業不要) マクリ仕様で本底のサライを行う。

注3

紳士靴の場合ヒールセット作業不要。

時間 紳士靴 手釣り110分、機械釣り80分

婦人靴 手釣り120分、機械釣り90分

(延長時間最大30分)

完成までが採点対象で時間延長の場合その時間により減点となります。

「革靴製甲技能」

試験内容 仕様書のとおり製甲完成品を作る。
但し婦人のプレーンパンプスは2足分の製作とします。
ミシンは SEIKO TF-5(18種)、あるいは PFAFF 591-940(サーボモーター付きポストミシン)、漉き機は NIPPY NP-202 を使用します。ミシンの希望機種を申込書に記入してください。

課題 機械の調整、コバ漉き、折り込み、貼り込み、組み立て、ミシン、さらい等

時間 120分
(延長時間最大40分)
完成までが採点対象で時間延長の場合その時間により減点となります。

これまでの革靴製造技能試験の受験者数及び合格者数(製甲・底付)

受験者数・合格者数

受験者数	234 名
合格者数	142 名

合格者内訳

製甲1級	29 名
製甲2級	27 名
底付1級	45 名
底付2級	41 名

試験に関するお問い合わせ・お申し込み

全日本革靴工業協同組合連合会「技能試験担当」

TEL:03-5603-2135 FAX:03-5603-8678

tokuda@zkk.jp